

# 『東京女子医科大学 八千代医療センター におけるIntegrated Facility managementの実例』

## ■ 東京女子医科大学 八千代医療センター

八千代市における急性期医療を  
担う総合病院として2006年12月に開院

許可病床数 : 355床  
延床面積 : 42000m<sup>2</sup>  
施設規模 : 外来棟 地上4階  
入院棟 地上6階  
駐車場 2棟



### 急性期に特化した医療体制

- 地域医療機関と機能分担・機能連携。
- “自己完結型医療”から“地域完結型”・“地域チーム医療”。
- 高機能かつ高効率。

### 第3次救急に準じた365日、24時間の救急医療

- 「ER」機能。
- 重篤患者のためのICU・CCU12床、小児HCU6床。
- 地域小児科医と連携、小児診療・救急の中核病院。
- 大規模災害時への対応(Life line、system、備蓄など)。

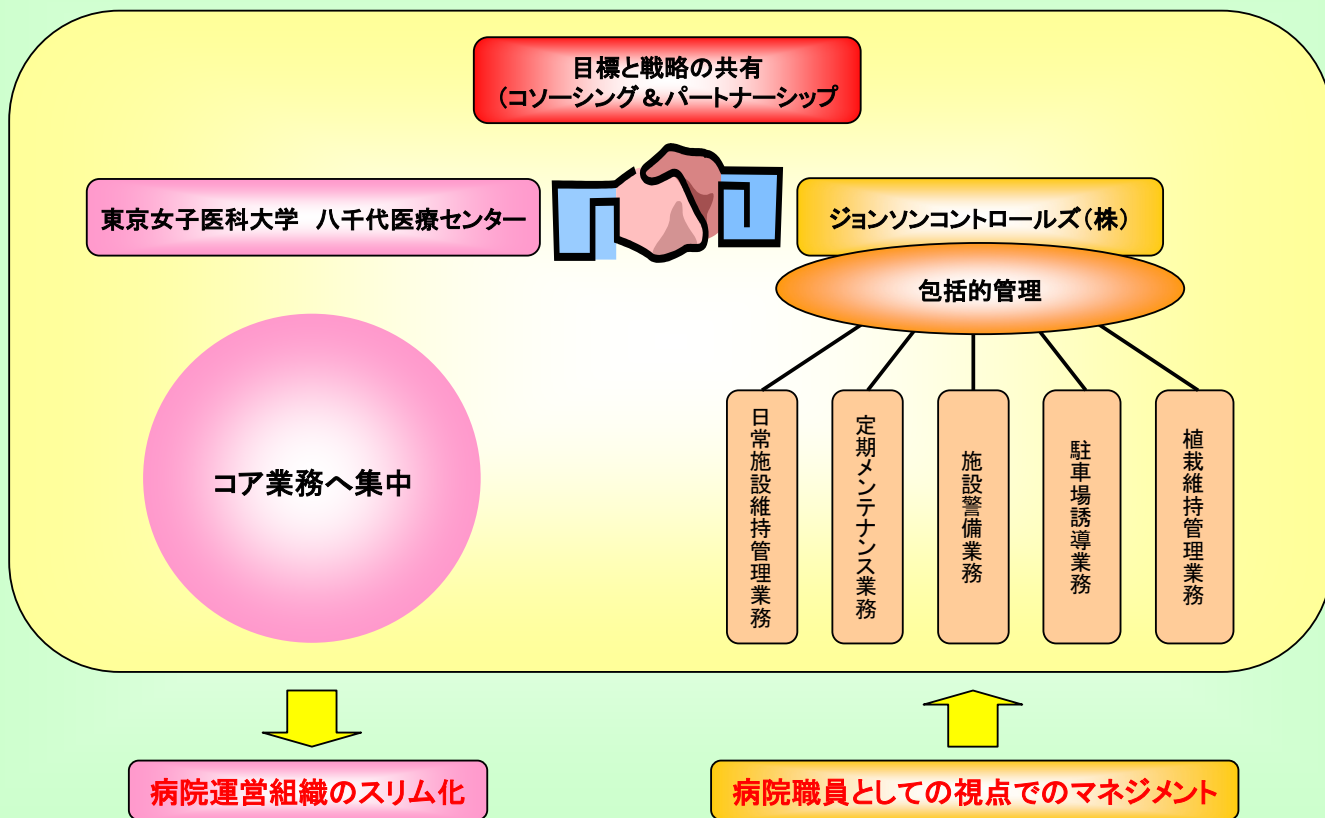
### 総合周産期母子医療センター

- 切迫早産、合併症のある妊婦のハイリスク出産(母体)と胎児から新生児までの連続した医療管理  
MFICU6床、NICU15床、GCU25床。
- 産科病室にLDR室設置・アメニティー向上。
- 母子センター外来を病棟内に併設。

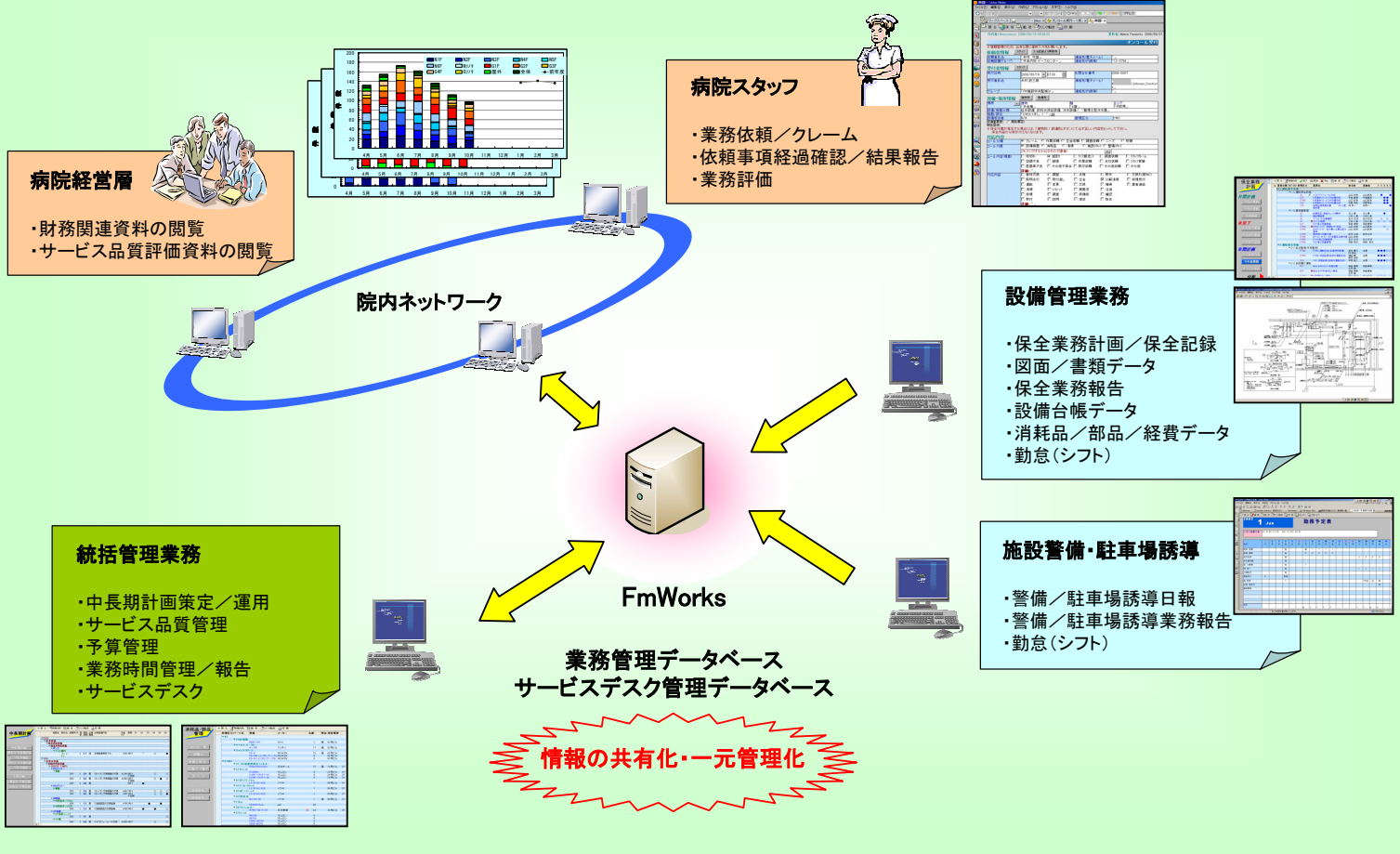
### 外来棟を分離

- フリーアドレス制の外来。
- 地域医師参加型の外来診療。
- 地域医療機関との前方連携、後方連携。
- 外来化学療法14床。
- 外来透析20床
- 日帰り手術室(ディサージェリー)2室+リカバリー。
- 全人的診療を行う「総合・救急診療科」設置(ベテラン医師配置)。
- 女性スタッフによる女性患者にための「女性科外来」設置。

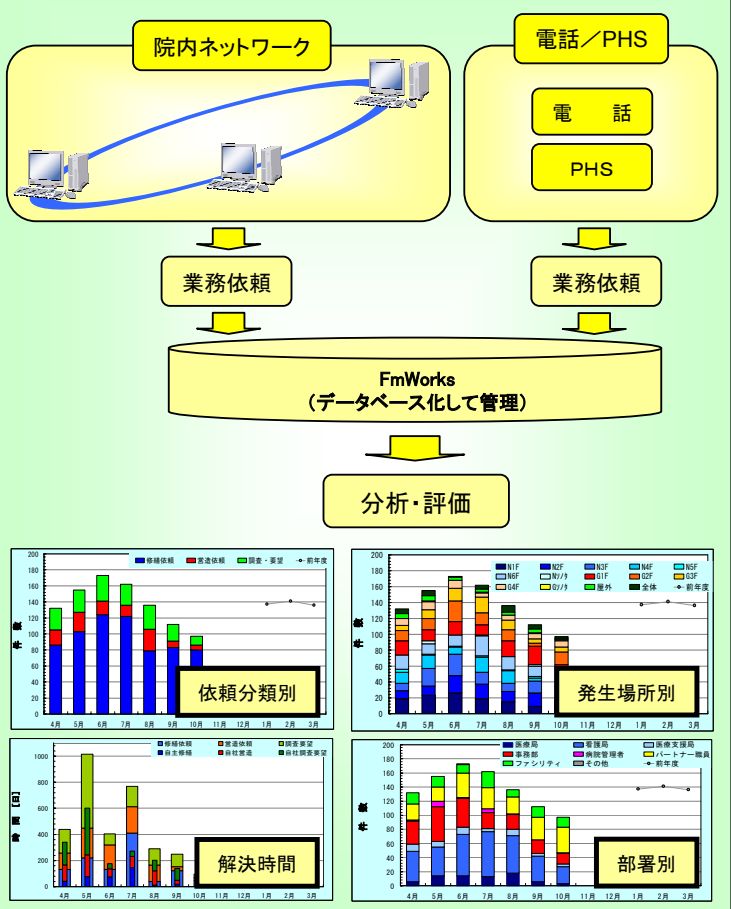
## ■ コソーシング(戦略的アウトソーシング)による施設維持管理業務の実施



# ITを活用した施設維持管理業務



# サービス品質の定量的分析・評価



# エネルギーマネジメント

